

## 国内四半期自転車生産・輸出入状況 (2020年4～6月)

### はじめに

本稿は、我が国の自転車生産・輸出入の変化の模様を的確に把握するため、四半期毎の動きに焦点を当て、特に対前年同期との比較を主体として調査を行ったものである。但し、前年同期との比較を主体とするとはいうものの、自転車販売には季節性がある事も考慮する必要がある。

2020年4～6月期の我が国の自転車生産状況は、総生産台数・総生産平均単価・総生産金額ともに前年同期を上回った。また2020年4～6月期の我が国の自転車輸入状況については、「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の輸入は総輸入台数・総輸入金額が対前年同期比増加、総輸入平均単価は対前年同期比下落という状況が示されている。

### 1. 我が国の自転車生産

#### 1-1 総合的生産状況

経済産業省生産動態統計調査によると、2020年4～6月期の我が国の完成自転車総生産台数は205,117台であり、前年同期と比較すると5.0%増加した。2020年4～6月期の205,117台という数値は、対象8四半期の中では平均的な数値であり、それほど多いとは言えない。これらの模様を、過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-1及び表1-1-2に示す。

表1-1-1 我が国自転車総生産台数の動向

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
総生産台数(台)	179,318	253,272	229,180	205,117
前年同四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
総生産台数(台)	170,623	226,169	256,111	195,377

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は確定後遡及修正反映数値 2019年数値は確定値）  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 以下、生産統計数値は全て同様。

表1-1-2 我が国自転車総生産台数の前年同期比

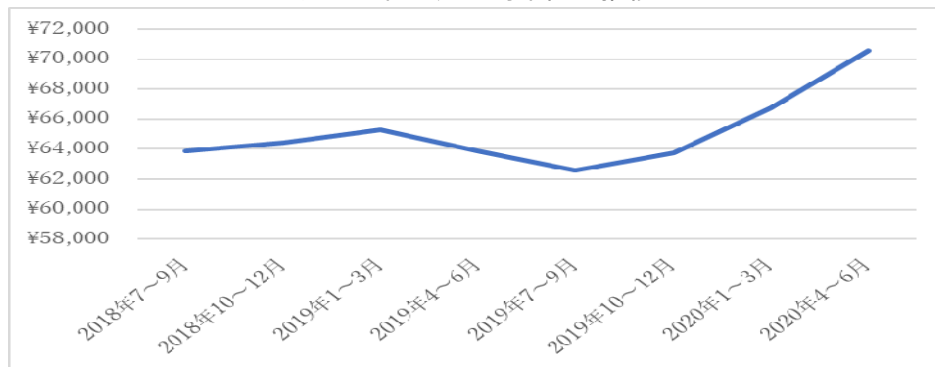
四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
実数比(台)	+8,695	+27,103	-26,931	+9,740
前年同期比(%)	+5.1	+12.0	-10.5	+5.0

四半期毎総生産台数は対前年同期比で見ると前四半期は減少していたが、それ以外は増加している。今四半期の増加幅は前述のとおり5.0%となっており、それほど大きく増えたわけではない。当協会が実施している自転車国内販売動向調査によると、2019年10月月報及び2019年11月月報には小売店における消費税増税後の販売減少の様子が示され、更に2020年2月月報には新型コロナウイルスの影響で来店客数が減り春需が感じられない、という小売店主の声を紹介されていた。しかしその後は新型コロナウイルスが自転車販売に多

面的な影響を与えたことが自転車国内販売動向調査月報から読み取れる。4月の同月報を見ると緊急事態宣言発令下では外出自粛により販売がふるわなかったほか、学校休業で通学車が売れなかったといった指摘がある一方で、5月月報を見ると学校再開・特別定額給付金・公共交通機関利用忌避などから自転車販売が好調になっている模様が記されている。これらの様々な要因が国内の自転車生産に影響しているものと思われる。

続いて総生産平均単価を見る。対象としている2018年7～9月期から2020年4～6月期までの8四半期の総生産平均単価の推移を図Aに示す。

図A 総生産平均単価の推移



総生産平均単価は2019年1～3月期迄と2019年7～9月期以降上昇している事がわかる。直近の上昇は勢いを伴っており、今四半期は対象8四半期の中では最高となっている。

次に総生産平均単価の動向の様相を過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-3及び表1-1-4に示す。2020年4～6月期の完成自転車生産平均単価は70,541円となっており、前年同期の63,866円から10.5%も上昇していることが示されている。

表1-1-3 我が国自転車総生産平均単価の動向

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
平均単価(円)	62,619	63,769	66,765	70,541
前年同四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
平均単価(円)	63,847	64,419	65,266	63,866

表1-1-4 我が国自転車総生産平均単価の前年同期比

四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
実数比(円)	-1,228	-649	+1,499	+6,675
前年同期比%	-1.9	-1.0	+2.3	+10.5

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。以下同様。

更に総生産金額について見てみると、2020年4～6月の完成自転車総生産金額は144億6,915万2千円で、前年同期と比較すると16.0%とかなり大きく増加した。これらの様相をやはり過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-5及び表1-1-6に示す。

表1-1-5 我が国自転車総生産金額の動向

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
総生産金額(千円)	11,228,708	16,151,026	15,301,143	14,469,152
前年同四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
総生産金額(千円)	10,893,845	14,569,578	16,715,347	12,478,014

表 1-1-6 我が国自転車総生産金額の前年同期比

四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
実数比(千円)	+334,863	+1,581,448	-1,414,204	+1,991,138
前年同期比%	+3.1	+10.9	-8.5	+16.0

## 1-2 車種別生産状況

以下に車種別の生産状況を見ていくが、経済産業省生産動態統計調査における自転車の車種区分は、「軽快車」「電動アシスト車」「その他」の三つである。

### 1-2-1 「軽快車」の生産状況

まず、「軽快車」の生産状況を以下に示す。2020年4～6月期には生産台数が前年同期に対し9.4%減少したことがわかる。また、「軽快車」の生産は秋から冬にかけて盛んで、春から夏にかけて低調であることもわかる。

表 1-2-1-1 「軽快車」の生産台数の動向

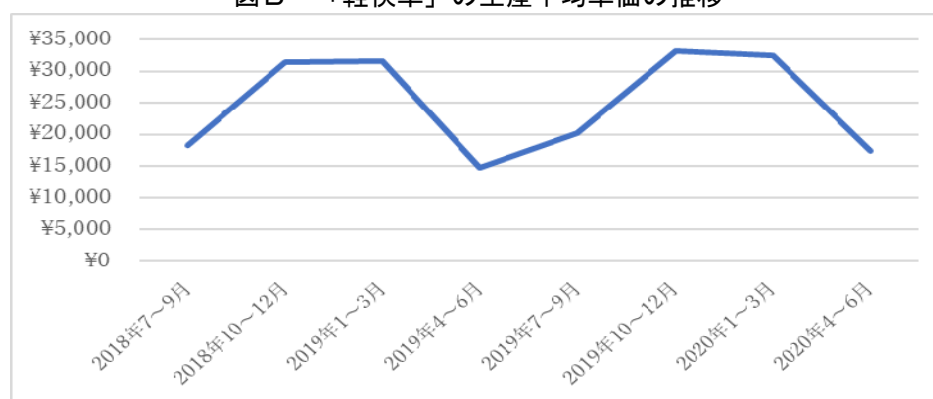
四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
生産台数(台)	38,362	74,306	76,380	32,119
前年同四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
生産台数(台)	35,483	76,115	78,625	35,450

表 1-2-1-2 「軽快車」の生産台数の前年同期比

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
実数比(台)	+2,879	-1,809	-2,245	-3,331
前年同期比%	+8.1	-2.4	-2.9	-9.4

続いて「軽快車」の生産平均単価を見る。対象としている2018年7～9月期から2020年4～6月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Bに示す。季節性が大変強く表れており、「軽快車」の生産は、秋から冬にかけて比較的高価なものを生産し、春から夏にかけては比較的安価なものを生産するという特徴がよくわかる。

図B 「軽快車」の生産平均単価の推移



次に「軽快車」の生産平均単価の動向の様態を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-1-3及び表1-2-1-4に示す。2020年4～6月期の「軽快車」の生産平均単価は17,425円となっており、前年同期の14,755円から18.1%も上昇した事がわかる。更に前年同期と比較した生産平均単価は継続して上昇していることもわかる。また後述する「軽快

車」の輸入平均 CIF 単価と比べると、2020 年 4～6 月期の生産平均単価は 2.1 倍弱となっている。この「軽快車」の生産平均単価と輸入平均 CIF 単価の差異は、2020 年 1～3 月期は 3.2 倍弱、2019 年 10～12 月期が 3.3 倍弱、2019 年 7～9 月期が 2.4 倍弱であり、秋から冬のほうがその差が大きくなっている。生産平均単価の季節変動は輸入平均単価の季節変動よりも大きいとも言える。

表 1-2-1-3 「軽快車」の生産平均単価の動向

四半期	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月
平均単価(円)	20,195	33,138	32,465	17,425
前年同四半期	2018 年 7～9 月	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月	2019 年 4～6 月
平均単価(円)	18,265	31,406	31,656	14,755

表 1-2-1-4 「軽快車」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月
実数比(円)	+1,930	+1,732	+809	+2,670
前年同期比%	+10.6	+5.5	+2.6	+18.1

更に生産金額について見てみると、2020 年 4～6 月期の「軽快車」の生産金額は 5 億 5,966 万 1 千円で前年同期と比較すると 7.0%増加した事が示されている。

表 1-2-1-5 「軽快車」の生産金額の動向

四半期	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月
生産金額(千円)	774,710	2,462,332	2,479,644	559,661
前年同四半期	2018 年 7～9 月	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月	2019 年 4～6 月
生産金額(千円)	648,092	2,390,458	2,488,955	523,065

表 1-2-1-6 「軽快車」の生産金額の前年同期比

四半期	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月
実数比(千円)	+126,618	+71,874	-9,311	+36,596
前年同期比%	+19.5	+3.0	-0.4	+7.0

## 1-2-2 「電動アシスト車」の生産状況

「電動アシスト車」の生産状況を以下に示す。まず生産台数は、2020 年 4～6 月期には対前年同期比 13.7%増加したことがわかる。前年同期と比較した生産台数は前四半期には 13.6%の減少、前々四半期には 20.2%の増加が示されており変化が大きい。2020 年 4～6 月期の生産台数は対象 8 四半期の中では多い方である。

表 1-2-2-1 「電動アシスト車」の生産台数の動向

四半期	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月
生産台数(台)	122,408	157,552	136,752	154,896
前年同四半期	2018 年 7～9 月	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月	2019 年 4～6 月
生産台数(台)	115,895	131,063	158,319	136,258

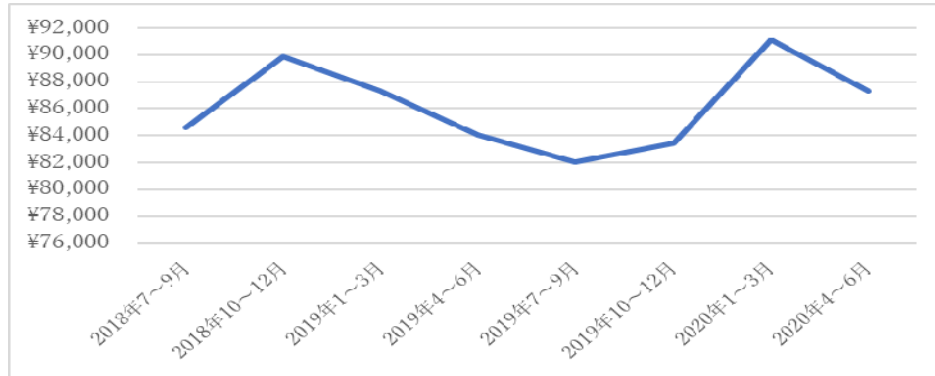
表 1-2-2-2 「電動アシスト車」の生産台数の前年同期比

四半期	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月
実数比(台)	+6,513	+26,489	-21,567	+18,638
前年同期比%	+5.6	+20.2	-13.6	+13.7

続いて「電動アシスト車」の生産平均単価を見る。対象としている 2018 年 7～9 月期から 2020 年 4～6 月期までの 8 四半期の生産平均単価の推移を図 C に示す。2018 年 10～12

月期を頂点として下落していたものが2019年7～9月期に底を打ち、その後上昇に転じ前四半期に再び頂点に達したが、今四半期は前四半期比下落している。

図C 「電動アシスト車」の生産平均単価の推移



次に「電動アシスト車」の生産平均単価の動向の様相を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-2-3及び表1-2-2-4に示す。2020年4～6月期の「電動アシスト車」の生産平均単価は87,332円となっており、前年同期の84,083円から3.9%上昇した事がわかる。対前年同期と比較した生産平均単価は、前々四半期まで下落していたが、前四半期から上昇に転じている。

表1-2-2-3 「電動アシスト車」の生産平均単価の動向

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
平均単価(円)	82,032	83,414	91,090	87,332
前年同四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
平均単価(円)	84,553	89,872	87,324	84,083

表1-2-2-4 「電動アシスト車」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
実数比(円)	-2,521	-6,458	+3,767	+3,249
前年同期比%	-3.0	-7.2	+4.3	+3.9

更に生産金額について見てみると、2020年4～6月の「電動アシスト車」の生産金額は135億2,743万2千円で、前年同期と比較すると18.1%と大きく増加した事が示されている。前々四半期には対前年同期比11.6%上昇していたものが、前四半期は9.9%の減少、そして今四半期の大幅な増加という推移をたどっている。

表1-2-2-5 「電動アシスト車」の生産金額の動向

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
生産金額(千円)	10,041,356	13,141,968	12,456,806	13,527,432
前年同四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
生産金額(千円)	9,799,290	11,778,855	13,824,976	11,456,966

表1-2-2-6 「電動アシスト車」の生産金額の前年同期比

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
実数比(千円)	+242,066	+1,363,113	-1,368,170	+2,070,466
前年同期比%	+2.5	+11.6	-9.9	+18.1

### 1-2-3 「その他」の生産状況

「その他」の生産状況を以下に示す。まず2020年4～6月期の生産台数は、18,102台で対前年同期比23.5%と大きく減少した。

表1-2-3-1 「その他」の生産台数の動向

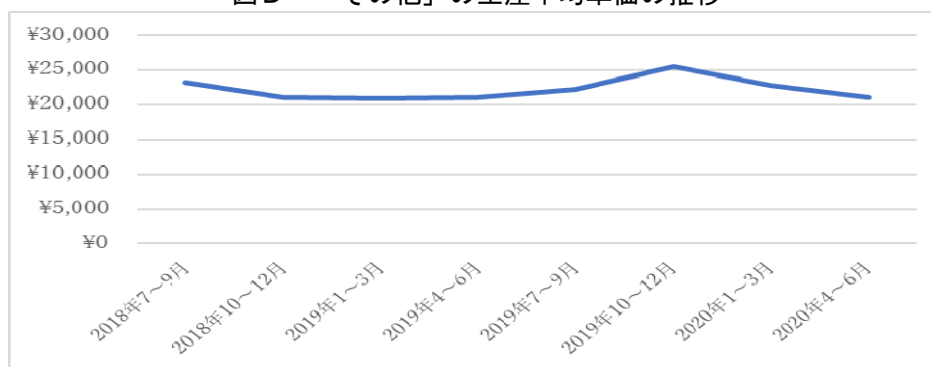
四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
生産台数(台)	18,548	21,414	16,048	18,102
前年同四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
生産台数(台)	19,245	18,991	19,167	23,669

表1-2-3-2 「その他」の生産台数の前年同期比

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
実数比(台)	-697	+2,423	-3,119	-5,567
前年同期比%	-3.6	+12.8	-16.3	-23.5

続いて「その他」の生産平均単価を見る。対象としている2018年7～9月期から2020年4～6月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Dに示す。「軽快車」や「電動アシスト車」に比べ安定しているように見える。

図D 「その他」の生産平均単価の推移



次に「その他」の生産平均単価の動向の模様を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-3-3及び表1-2-3-4に示す。2020年4～6月期の「その他」の生産平均単価は21,106円となっており、前年同期の21,039円と同水準である。前年同期と比較した生産平均単価は前々四半期から上昇に転じているが、その上昇の程度は次第に縮小してきている。

表1-2-3-3 「その他」の生産平均単価の動向

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
平均単価(円)	22,247	25,531	22,725	21,106
前年同四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
平均単価(円)	23,199	21,077	20,943	21,039

表1-2-3-4 「その他」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
実数比(円)	-952	+4,455	+1,782	+66
前年同期比%	-4.1	+21.1	+8.5	+0.3

更に生産金額について見てみると、2020年4～6月期の「その他」の生産金額は3億8,205万9千円で、前年同期比23.3%と大きく減少した。前々四半期には対前年同期比36.6%の増加を示していたが、前四半期から減少に転じている。

表1-2-3-5 「その他」の生産金額の動向

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
生産金額(千円)	412,642	546,726	364,693	382,059
前年同四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
生産金額(千円)	446,463	400,265	401,416	497,983

表1-2-3-6 「その他」の生産金額の前年同期比

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
実数比(千円)	-33,821	+146,461	-36,723	-115,924
前年同期比%	-7.6	+36.6	-9.1	-23.3

## 2. 我が国の自転車輸入

### 2-1 総合的輸入状況

まず、「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入台数について示す。2020年4～6月期の総輸入台数は、表2-1-1に示す通り1,843,084台であった。前年同期と比較すると、表2-1-2に示す通り13.0%増加した。前四半期には対前年同期比21.7%減少していたので、大きな変化が発生している。またこの1,843,084台という数値は、対象とする8四半期の中で最大である。前述のとおり当協会が実施している自転車国内販売動向調査によると、2020年5月月報には学校再開・特別定額給付金・公共交通機関利用忌避などから自転車販売が好調になっている模様が記されている。これらの要因が自転車輸入に影響を与えたものと思われる。

表2-1-1 我が国自転車総輸入台数の動向

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
総輸入台数(台)	1,375,387	1,392,616	1,440,671	1,843,084
前年同四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
総輸入台数(台)	1,276,139	1,426,781	1,840,057	1,631,661

出典：財務省貿易統計(2018年2019年数値は確定後数値) 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
以下、輸入統計数値は全て同様。

表2-1-2 我が国自転車総輸入台数の前年同期比

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
実数比(台)	+99,248	-34,165	-399,386	+211,423
前年同期比(%)	+7.8	-2.4	-21.7	+13.0

尚、参考までこの間のドル円為替レートを別表1に示しておく。

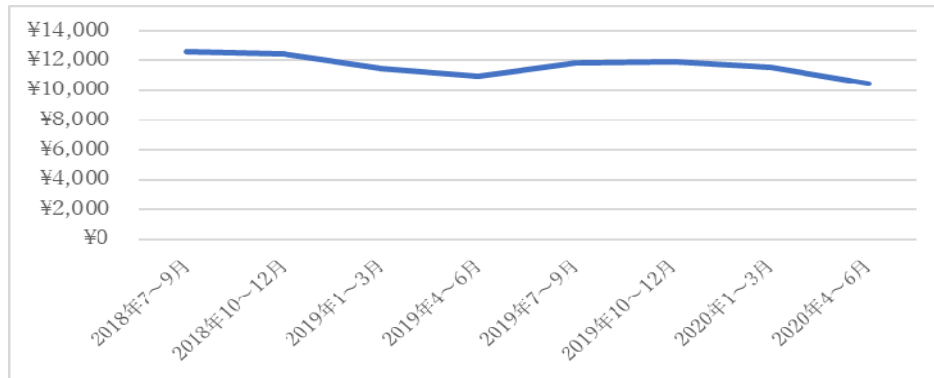
別表1 ドル円為替レート (税関長公示レート)

四半期別	1US\$=JPY
2018年7～9月	111.08
2018年10～12月	113.00
2019年1～3月	110.11
2019年4～6月	110.44
2019年7～9月	107.31
2019年10～12月	108.49
2020年1～3月	108.91
2020年4～6月	107.83

出典：公益財団法人日本関税協会 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている2018年7～9月期から2020年4～6月期までの8四半期の総輸入平均 CIF 単価の推移を図Eに示す。緩やかな下落傾向にあるように見受けられる。

図E 総輸入平均 CIF 単価の推移



続いて総輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2020年4～6月期の完成自転車輸入平均 CIF 単価は10,425円となっており、前年同期の10,971円から5.0%下落した。前年同期比の総輸入平均 CIF 単価は前四半期にはわずかに上昇したものの、それ以外の3四半期は下落を示している。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼり表2-1-3及び表2-1-4に示す。

表2-1-3 我が国自転車総輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
平均 CIF 単価(円)	11,849	11,880	11,562	10,425
前年同四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
平均 CIF 単価(円)	12,534	12,400	11,454	10,971

表2-1-4 我が国自転車総輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
実数比(円)	-685	-520	+108	-546
前年同期比%	-5.5	-4.2	+0.9	-5.0

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。以下同様。

更に総輸入金額について見てみると、2020年4～6月期の完成自転車総輸入 CIF 金額は192億1,420万7千円となり前年同期比7.3%増加した。この192億1,420万7千円という



数値は対象8四半期中で2番目に多い数値である。これらの模様を過去4四半期にまでさかのぼり表2-1-5及び表2-1-6に示す。

表2-1-5 我が国自転車総輸入CIF金額の動向

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
総輸入CIF金額(千円)	16,296,763	16,544,779	16,657,242	19,214,207
前年同四半期	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月
総輸入CIF金額(千円)	15,994,855	17,692,395	21,075,532	17,900,594

表2-1-6 我が国自転車総輸入CIF金額の前年同期比

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
実数比(千円)	+301,908	-1,147,616	-4,418,290	+1,313,613
前年同期比%	+1.9	-6.5	-21.0	+7.3

## 2-2 車種別輸入状況

我が国の輸入における関税番号及び車種については次の別表2の通り分類されている。電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、モーターサイクルの中に「駆動原動機として電動機を有するもの」が区分されており、電動アシスト車はこの中に含まれているものと思われる。しかしこの区分には、電動オートバイも含まれているので注意が必要である。

別表2 輸入における車種区分 関税番号

関税番号/品名区分	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12~16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12~16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18~24吋) ・Jr.MTB(18~24吋) ・一輪車(18~24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)
8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	・電動オートバイ、電動アシスト自転車がこの区分の中に含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

以下に車種別輸入状況を示していくが、車種区分が比較的多いため、この中から「ミニサイクル」、底堅い需要のある「子供車」、重要と思われる「軽快車」及び「その他」、動向が注目される「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」に限って内訳をみてゆく。

### 2-2-1 「ミニサイクル」の輸入状況

「ミニサイクル」の輸入状況を表2-2-1-1及び表2-2-1-2に示す。2020年4～6月期には輸入台数が前年同期比で23.9%も増加したことが示されている。表2-2-1-2を横に見るとわかる通り、前四半期の小幅な減少を除き、全体として増加傾向にあることがわかる。

表2-2-1-1 「ミニサイクル」の輸入台数の動向

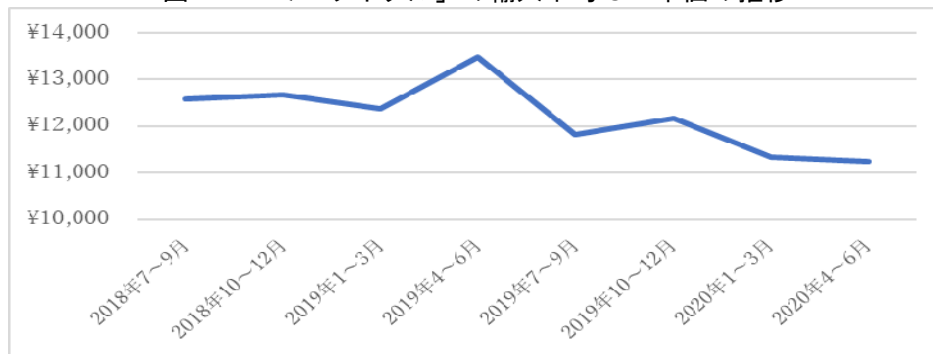
四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
輸入台数(台)	62,279	63,597	68,702	95,373
前年同四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
輸入台数(台)	48,447	56,563	70,550	76,990

表2-2-1-2 「ミニサイクル」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
実数比(台)	+13,832	+7,034	-1,848	+18,383
前年同期比(%)	+28.6	+12.4	-2.6	+23.9

次に「ミニサイクル」の自転車の輸入平均CIF単価を見る。対象としている2018年7～9月期から2020年4～6月期までの8四半期の輸入平均CIF単価の推移を図Fに示す。2019年4～6月期が突出していたが、翌2019年7～9月期に大きく下落し、その後も下落傾向にあるように見受けられる。

図F 「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の推移



続いて「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2020年4～6月期の輸入平均CIF単価は11,237円となっており、前年同期の13,471円から16.6%下落した。前年同期と比較した平均CIF単価は4四半期連続して下落している。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼり表2-2-1-3及び表2-2-1-4に示す。

表2-2-1-3 「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の動向

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
平均CIF単価(円)	11,831	12,176	11,335	11,237
前年同四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
平均CIF単価(円)	12,591	12,664	12,374	13,471

表2-2-1-4 「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の前年同期比

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
実数比(円)	-760	-488	-1,040	-2,234
前年同期比%	-6.0	-3.9	-8.4	-16.6

更に輸入金額について見てみると、2020年4～6月期の「ミニサイクル」の輸入CIF金額は10億7,172万1千円となり前年同期比3.3%増加した。金額も台数の場合と同様、前年同期との比較では前四半期に減少したほかは増加している。

表2-2-1-5 「ミニサイクル」の輸入CIF金額の動向

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
輸入CIF金額(千円)	736,818	774,329	778,713	1,071,721
前年同四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
輸入CIF金額(千円)	610,016	716,308	872,998	1,037,158

表2-2-1-6 「ミニサイクル」の輸入CIF金額の前年同期比

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
実数比(千円)	+126,802	+58,021	-94,285	+34,563
前年同期比%	+20.8	+8.1	-10.8	+3.3

## 2-2-2 「子供車」の輸入状況

「子供車」の輸入状況を以下に示す。2020年4～6月期には輸入台数は489,434台となった。前四半期は一時的に対前年比で大幅に減少したが、今四半期は前年同期比8.8%の増加となり、増加傾向に復している。またこの489,434台という輸入台数は、ここで示した8四半期の中で最も大きい数値である。

表2-2-2-1 「子供車」の輸入台数の動向

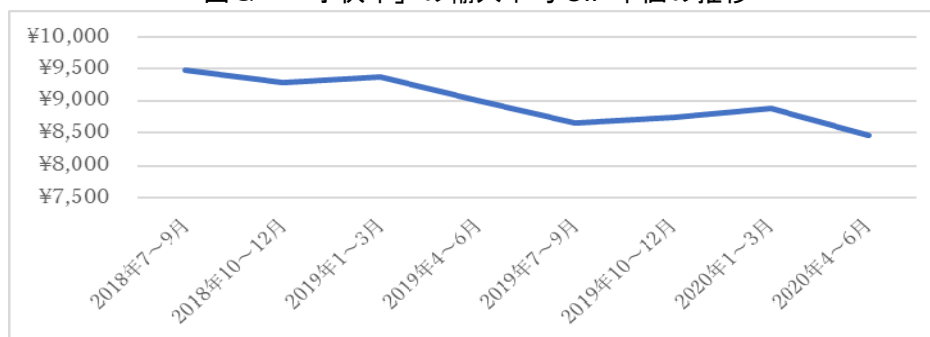
四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
輸入台数(台)	357,722	343,683	248,815	489,434
前年同四半期	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月
輸入台数(台)	314,904	317,216	359,298	449,883

表2-2-2-2 「子供車」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月
実数比(台)	+42,818	+26,467	-110,483	+39,551
前年同期比(%)	+13.6	+8.3	-30.7	+8.8

次に「子供車」の輸入平均CIF単価を見る。対象としている2018年7～9月期から2020年4～6月期までの8四半期の輸入平均CIF単価の推移を図Gに示す。全体的に緩やかな下落傾向にあるように見受けられる。

図G 「子供車」の輸入平均CIF単価の推移



続いて輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2020 年 4～6 月期の「子供車」の輸入平均 CIF 単価は 8,458 円となっており、前年同期の 9,004 円から 6.1%下落した。平均単価は前年同期比で下落が続いている事がわかる。

表 2-2-2-3 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月
平均 CIF 単価(円)	8,651	8,741	8,891	8,458
前年同四半期	2018 年 7～9 月	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月	2019 年 4～6 月
平均 CIF 単価(円)	9,477	9,294	9,370	9,004

表 2-2-2-4 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月
実数比(円)	-826	-554	-479	-546
前年同期比%	-8.7	-6.0	-5.1	-6.1

更に輸入金額について見てみると、2020 年 4～6 月期の「子供車」の輸入 CIF 金額は 41 億 3,977 万 5 千円となり前年同期比 2.2%増加した。台数の場合と同様、金額も前四半期は一時的に大きく減少したが、今四半期は増加に復している。この 41 億 3,977 万 5 千円という輸入金額は、やはりここで示した 8 四半期の中で最も大きい数値である。

表 2-2-2-5 「子供車」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月
輸入 CIF 金額(千円)	3,094,514	3,003,999	2,212,121	4,139,775
前年同四半期	2018 年 7～9 月	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月	2019 年 4～6 月
輸入 CIF 金額(千円)	2,984,337	2,948,363	3,366,519	4,050,847

表 2-2-2-6 「子供車」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月
実数比(千円)	+110,177	+55,636	-1,154,398	+88,928
前年同期比%	+3.7	+1.9	-34.3	+2.2

### 2-2-3 「軽快車」の輸入状況

「軽快車」の輸入状況を以下に示す。2020 年 4～6 月期には、372,429 台の「軽快車」が輸入された。前年同期と比較すると今四半期は 0.3%とわずかな減少が示されているが、3 四半期連続で減少したこともわかる。

表 2-2-3-1 「軽快車」の輸入台数の動向

四半期	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月
輸入台数(台)	339,589	384,076	458,020	372,429
前年同四半期	2018 年 7～9 月	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月	2019 年 4～6 月
輸入台数(台)	337,447	439,812	573,283	373,720

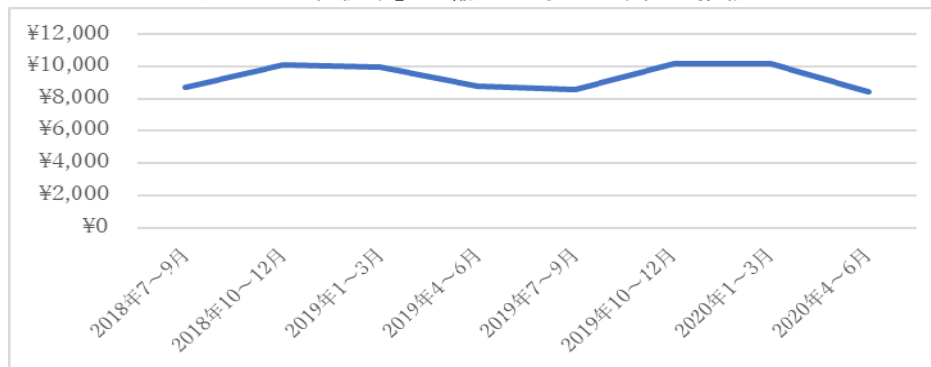
表 2-2-3-2 「軽快車」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月
実数比(台)	+2,142	-55,736	-115,263	-1,291
前年同期比(%)	+0.6	-12.7	-20.1	-0.3

次に「軽快車」の自転車の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている 2018 年 7～9 月期から 2020 年 4～6 月期までの 8 四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図 H に示す。生産の場合と同様、季節性が表れており、秋から冬にかけて比較的高価なものを輸入し、春から夏に

かけては比較的安価なものを輸入するという特徴がわかる。但し、前述のとおり変化の度合いは生産の場合より小さい。

図H 「軽快車」の輸入平均 CIF 単価の推移



続いて輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2020年4~6月期の「軽快車」の輸入平均 CIF 単価は8,444円となっており、前年同期の8,793円から4.0%下落した。対前年同期との比較では、その変化は比較的小さい状況が続いている。

表2-2-3-3 「軽快車」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
平均 CIF 単価(円)	8,566	10,165	10,149	8,444
前年同四半期	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月
平均 CIF 単価(円)	8,744	10,119	9,947	8,793

表2-2-3-4 「軽快車」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
実数比(円)	-178	+46	+202	-349
前年同期比%	-2.0	+0.4	+2.0	-4.0

更に輸入金額について見てみると、2020年4~6月期の「軽快車」の輸入 CIF 金額は31億4,480万7千円となり前年同期比4.3%減少した。金額は4四半期連続で前年同期比減少している。

表2-2-3-5 「軽快車」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
輸入 CIF 金額(千円)	2,909,085	3,903,952	4,648,458	3,144,807
前年同四半期	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月
輸入 CIF 金額(千円)	2,950,654	4,450,461	5,702,659	3,286,185

表2-2-3-6 「軽快車」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
実数比(千円)	-41,569	-546,509	-1,054,201	-141,378
前年同期比%	-1.4	-12.3	-18.5	-4.3

#### 2-2-4 「その他」の輸入状況

スポーツ車や外装変速機付軽快車が含まれる「その他」の輸入状況を以下に示す。2020年4~6月期の輸入台数は687,571台であり、前年同期比22.2%増加した。輸入台数は前四半期には前年同期比減少していたが、それ以外は前年同期比増加を示している。

表 2-2-4-1 「その他」の輸入台数の動向

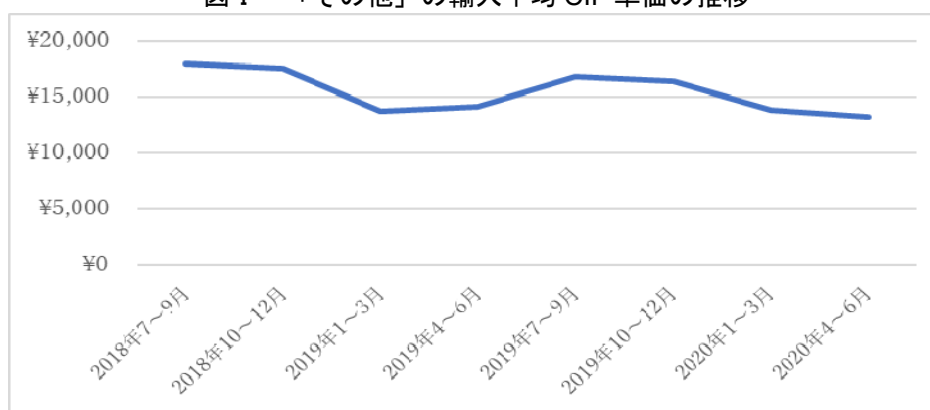
四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
輸入台数(台)	482,381	462,746	571,308	687,571
前年同四半期	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月
輸入台数(台)	442,353	450,740	710,604	562,632

表 2-2-4-2 「その他」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
実数比(台)	+40,028	+12,006	-139,296	+124,939
前年同期比(%)	+9.0	+2.7	-19.6	+22.2

次に「その他」の自転車の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている 2018 年 7~9 月期から 2020 年 4~6 月期までの 8 四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図 I に示す。7~9 月期と 10~12 月期が比較的高く、1~3 月期と 4~6 月期が比較的低いように見受けられる。

図 I 「その他」の輸入平均 CIF 単価の推移



続いて輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2020 年 4~6 月期の「その他」の輸入平均 CIF 単価は 13,159 円となっており、前年同期の 14,090 円から 6.6%下落した。輸入平均 CIF 単価は、前四半期には前年同期比でわずかに上昇したが、それ以外の四半期は前年同期比で 6%台の下落が継続的に示されている。

表 2-2-4-3 「その他」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
平均 CIF 単価(円)	16,831	16,399	13,779	13,159
前年同四半期	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月
平均 CIF 単価(円)	17,947	17,520	13,702	14,090

表 2-2-4-4 「その他」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
実数比(円)	-1,116	-1,121	+77	-931
前年同期比%	-6.2	-6.4	+0.6	-6.6

更に輸入金額について見てみると、2020 年 4~6 月期の「その他」の輸入 CIF 金額は 90 億 4,799 万 4 千円となり前年同期比 14.1%増加した。輸入金額は過去 2 四半期連続で前年同期比減少を示していたが、今四半期は増加に転じている。

表 2-2-4-5 「その他」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
輸入 CIF 金額(千円)	8,118,954	7,588,415	7,872,311	9,047,994
前年同四半期	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月
輸入 CIF 金額(千円)	7,938,859	7,896,840	9,736,863	7,927,487

表 2-2-4-6 「その他」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
実数比(千円)	+180,095	-308,425	-1,864,552	+1,120,507
前年同期比%	+2.3	-3.9	-19.1	+14.1

### 2-2-5 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入状況

最後に参考まで「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入状況を示す。2020年4~6月期には、輸入台数が前年同期比71.1%と大きく増加したことが示されている。対前年同期比の輸入台数は、前四半期の僅かな減少を除き増加が示されている。今四半期の143,870台という数値は、対象8四半期の中では最大である。

表 2-2-5-1 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入台数の動向

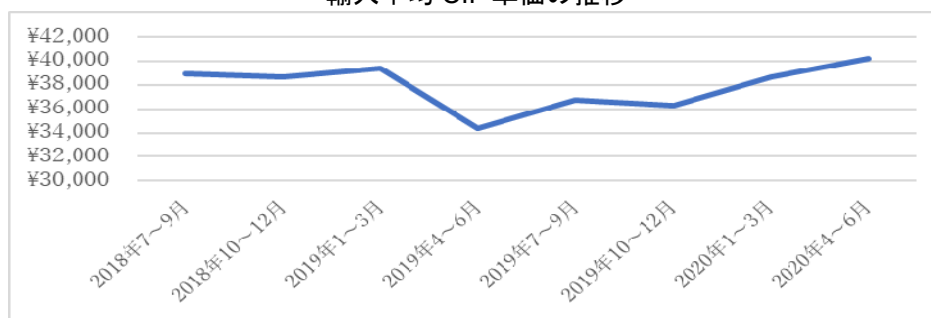
四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
輸入台数(台)	98,639	117,500	83,172	143,870
前年同四半期	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月
輸入台数(台)	87,386	87,312	83,382	84,074

表 2-2-5-2 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
実数比(台)	+11,253	+30,188	-210	+59,796
前年同期比(%)	+12.9	+34.6	-0.3	+71.1

次に「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている2018年7~9月期から2020年4~6月期までの8四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図Jに示す。2019年4~6月期に大きく下落した後、回復傾向を示している。

図 J 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均 CIF 単価の推移



続いて輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2020年4~6月期の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均 CIF 単価は40,177円となっており、前年同期の34,330円から17.0%上昇した。前年同期比の輸入平均 CIF 単価はそれまでの下落傾向から一転して上昇に転じた。

表 2-2-5-3 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の  
輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
平均 CIF 単価(円)	36,743	36,280	38,648	40,177
前年同四半期	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月
平均 CIF 単価(円)	38,932	38,689	39,397	34,330

表 2-2-5-4 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の  
輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
実数比(円)	-2,189	-2,408	-749	+5,847
前年同期比%	-5.6	-6.2	-1.9	+17.0

更に輸入金額について見てみると、2020年4~6月期の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入 CIF 金額は 57 億 8,031 万 9 千円となり、前年同期比倍増した。今四半期の対前年同期と比較した「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入は、台数が 71%増、平均単価が 17%上昇、輸入金額が倍増という結果である。

表 2-2-5-5 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の  
輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
輸入 CIF 金額(千円)	3,624,289	4,262,945	3,214,434	5,780,319
前年同四半期	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月
輸入 CIF 金額(千円)	3,402,070	3,377,980	3,284,995	2,886,270

表 2-2-5-6 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の  
輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
実数比(千円)	+222,219	+884,965	-70,561	+2,894,049
前年同期比%	+6.5	+26.2	-2.1	+100.3

### 3. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。2020年4~6月の「国内向け数量」は 2,048,201 台となり、前年同期比 12.1%増加した。前 2 四半期は対前年同期比で減少していたが、今四半期は増加に転じている。

表 3-1 「国内向け数量」の動向

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
国内向け数量(台)	1,554,705	1,645,888	1,669,851	2,048,201
前年同四半期	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月
国内向け数量(台)	1,446,762	1,652,950	2,096,168	1,827,038

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は確定後遡及修正反映数値 2019年数値は確定値）  
財務省貿易統計（2018年 2019年数値は確定後数値） 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
（生産には「電動アシスト車」を含み、輸入には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）  
表 3-2 も同様



表 3-2 「国内向け数量」の前年同期比

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
実数比(台)	+107,943	-7,062	-426,317	+221,163
前年同期比(%)	+7.5	-0.4	-20.3	+12.1

#### 4. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。

2020年4~6月期の総輸出台数は675,433台となり前年同期から16.5%減少した。これらの模様を過去4四半期にまでさかのぼり表4-1及び表4-2に示す。

表 4-1 我が国自転車総輸出台数の動向

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
総輸出台数(台)	704,895	866,289	703,025	675,433
前年同四半期	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月
総輸出台数(台)	699,411	834,374	729,774	808,971

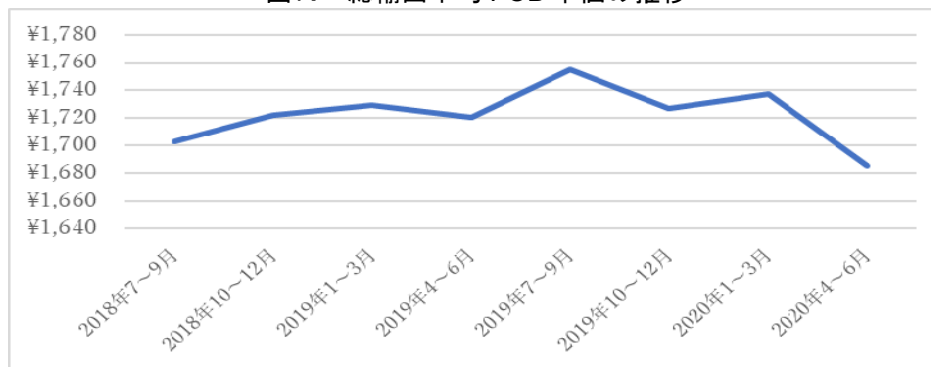
出典：財務省貿易統計(2018年2019年数値は確定後数値)、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
以下、輸出統計数値は全て同様。

表 4-2 我が国自転車総輸出台数の前年同期比

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
実数比(台)	+5,484	+31,915	-26,749	-133,538
前年同期比(%)	+0.8	+3.8	-3.7	-16.5

次に全ての車種の輸出平均FOB単価を見る。対象としている2018年7~9月期から2020年4~6月期までの8四半期の総輸出平均FOB単価の推移を図Kに示す。今四半期の下落が際立っている。

図K 総輸出平均FOB単価の推移



続いて輸出平均FOB単価を見ると、2020年4~6月期の完成自転車総輸出平均FOB単価は1,685円となっており、前年同期の1,720円から2.1%下落した。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼり表4-3及び表4-4に示す。前年同期と比較した四半期毎総輸出平均FOB単価の変化は大きくはない。また、平均FOB単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。

表 4-3 我が国自転車総輸出平均 FOB 単価の動向

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
平均 FOB 単価(円)	1,755	1,727	1,737	1,685
前年同四半期	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月
平均 FOB 単価(円)	1,703	1,722	1,729	1,720

表 4-4 我が国自転車総輸出平均 FOB 単価の前年同期比

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
実数比(円)	+52	+6	+8	-36
前年同期比%	+3.0	+0.3	+0.5	-2.1

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

更に総輸出金額について見てみると、2020年4~6月期の完成自転車総輸出 FOB 金額は11億3,789万1千円となり前年同期比比18.2%減少した。これらの模様をやはり過去4四半期にまでさかのぼり表4-5及び表4-6に示す。前年同期比の総輸出金額は2四半期連続で減少した。

4-5 我が国自転車総輸出 FOB 金額の動向

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
総輸出 FOB 金額(千円)	1,236,890	1,496,455	1,221,476	1,137,891
前年同四半期	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月
総輸出 FOB 金額(千円)	1,191,129	1,436,424	1,262,032	1,391,595

表 4-6 我が国自転車総輸出 FOB 金額の前年同期比

四半期	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月
実数比(千円)	+45,761	+60,031	-40,556	-253,704
前年同期比%	+3.8	+4.2	-3.2	-18.2

尚、輸出に関する分析では「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」は対象から除外している。

以 上